

令和3年4月

なばり市議会だより



市議会の動きをコンパクトにまとめてお伝えします。今号は 6月 9月 12月 3月 の定例会をクローズアップ

編集/議会広報特別委員会 発行/名張市議会 ● 三重県名張市鴻之台1-1 ☎ 63-7834 FAX 64-8870 ✉ gikai@city.nabari.mie.jp



名張市議会議長

常俊 朋子

「なばり市議会だより」が、平成8年8月に創刊され、今号で100号の節目を迎えることとなりました。広報発刊に関わってこられた議員諸先輩方や、歴代の議会広報特別委員の皆さんのおかげと感謝申し上げます。

これまで、議会広報紙「なばり市議会だより」では、議案や予算案について審議した内容や議会活動について、市民の皆さんにお伝えしてまいりました。市からの政策提案や予算案について、議員から市に問いかけた内容やその回答、また、市議会が提案した内容



名張市長

亀井 利克

このたび、「なばり市議会だより」が創刊より第100号という大きな節目を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、平成8年8月の創刊以来、四半世紀の長きにわたり、市民の皆さんに親しまれる紙面づくりを続けてこられた名張市議会の皆さんのご努力と熱意に対し、深く敬意を表します。

さて、本市では、全国的に少子高齢化が急速に進展する中、「ともに考えともに築き、未来につながる福祉の理想郷」を基本理念とし、豊かな自然と文化に包まれて、誰もが元気

など市民の皆さんに知っていただくための重要な広報紙となっております。

今後もより多くの市民の皆さんの声を聴かせていただくためにも、市議会をもっと身近に感じ、関心を持っていただける紙面作りに取り組んでまいりたいと思います。また、市議会からの情報発信の手段として、ホームページ、フェイスブック、ツイッターを活用するなど市民の皆さんに議会活動を分かりやすくお伝えしてまいりたいと思いますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

で幸せに暮らせるまちを目指し、各種施策に取り組んでおります。こうした中、「なばり市議会だより」により市民の皆さんに議会の動きをわかりやすく伝えていただくことで、市政への理解、関心を高めていただけることは、行政といたしまして、大変心強く感じさせていただきます。

「なばり市議会だより」が今後更なる発展を遂げられることをご期待申し上げますとともに、名張市議会の益々のご発展と議員各位のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのごことばいたします。

進化と継承

これまでも これからも

市民とともに紡いで

第100号

議会広報特別委員長

森脇 和徳



名張市議会に「親しみを感じてもらう」「関心と興味をもってもらう」「より伝わりやすく」など、市民の皆さんにとって有益な紙面とするため、毎号、委員全員で苦心しながら編集作業を進めております。議場でのやり取りは、専門用語や行政特有の言い回しなどもありますが、各議員から「こはしっかりと紙面掲載を」と原稿を預かりますので、委員会として責任を果たすべく「一字一句正確かつ公正に」をモットーとしております。その中でもっと分かりやすく、専門用語には注釈を入れるなど、協議をしながら仕上げしております。引き続き、市民の皆さんに手にとってもらいやすく、コンパクトかつダイレクトに議会の動きが伝わるような議会だよりを心がけてまいりますので、よろしくお願いいたします。

「なばり市議会だより」の編集を行っている議会広報特別委員会



(左から) 荊原委員、木平委員、足立副委員長、森脇委員長、阪本委員、坂本委員

令和3年3月定例会

令和3年度一般会計当初予算
27.3億4千万円を可決

3月定例会(第397回)は3月2日開会、24日閉会の23日間の日程で行いました。提出された議案は条例改正9件、令和3年度当初予算10件、令和3年度一般会計・企業会計の補正予算3件、令和2年度一般会計・特別会計・企業会計の補正予算10件、専決処分にかかる報告1件、一般議案1件、人事案件2件、議員提出議案3件です。これらの39議案を本会議・予算特別委員会・常任委員会で審議し38議案を可決・承認または同意し、1議案を否決しました。



また4人の議員が提出した、「議案第1号令和3年度一般会計予算についてに対する予算組み替え動議について」を否決しました。

3日間の一般質問では、9議員が登壇し市政全般にわたる質問を行いました。

令和3年度補正予算

一般会計で、4億8503万円の増額補正を行い、増額後の令和3年度一般会計予算総額は27.8億2503万円となりました。また、水道事業会計では59万円の増額、病院事業会計では76万円の増額となりました。

令和2年度補正予算

一般会計で、5億3897万円の増額補正を行い、増額後の令和2年度一般会計予算総額は39.0億8709万円となりました。また、国民健康保険特別会計では49.2万円の減額、介護保険特別会計では2億8206万円の増額、後期高齢者医療特別会計では884万円の減額などとなりました。

Q&A

議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します(一部抜粋)。
掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

一般質問

福祉・環境

公明党

吉住美智子 議員



子宮頸がん予防

子宮頸がん発症は若い女性に増加し、年間約2800人が死亡している。平成25年4月から予防ワクチンの定期接種を開始したが、副反応の報告で勧奨を中止した。近年、ワクチン接種で子宮頸がんになるリスクが5割低下した研究結果も出ている。厚労省から一度、積極的勧奨ではなく、検討・判断するためのリーフレットを個別配布するよう通知された。接種の選択ができるよう対象者に個別通知すべきだ。

個別通知は高1へ

対象者は、予防ワクチンを全額公費で3回接種できる。小学6年生と中学3年生には、学校を通じてリーフレットを配布し、高校1年生に相当する女子には、個別通知で有効性や安全性に関する情報を積極的に提供する。

自由クラブ

山下登 議員



高齢者支援の現況

高齢者支援体制については、まちの保健室と民生委員児童委員との連携による見守り、また地域づくり組織の方々の見守りなども行われ、二重三重に体制がとられているとの認識を示されているが、現況の取組について問う。

地域共生社会の実現

本市は高齢者のみで構成される世帯の増加など、日常生活の多くの場面で支援を必要とする状況が生じており、介護予防や認知症ケア、医療と介護・福祉の連携、生活支援を柱に施策を推進し、地域包括ケアシステムの構築に努めている。また、複合的な課題に対応する「地域福祉教育総合支援ネットワーク」を構築する中で、地域共生社会の実現に向けて取組を進めている。

心風会

幸松孝太郎 議員



CO2実質ゼロ表明

「2050年二酸化炭素(CO2)排出実質ゼロをめざす」と表明した自治体が増えている。現時点で298自治体が表明しているが、本市においても、脱炭素社会の実現を目指し、表明を行うよう求める。

2021年度に向け

国は2050年二酸化炭素の排出量の実質ゼロを目標に掲げる「ゼロカーボンシテイ」の表明を推進している。この理念や地球温暖化対策なども反映し、SDGs(※)の考え方も活用して、より一層の温室効果ガスの削減に努めていく。その実現のため、2021年度に第三次なばり快適環境プランの見直しを進めると共に、2050年CO2排出実質ゼロをめざす表明について検討する。

※SDGs: 貧困・健康・エネルギーや気候変動などについての17の国際目標と、それらを達成するための169の具体的なターゲットで構成される国際社会共通の目標。

無党派

三原淳子 議員



生活困難への支援を

コロナ禍で、収入が減り暮らしがままならない事態が顕著にある。特に非正規労働者や女性、子どもなど社会的に弱い立場にある人を直撃している。厚労省も生活保護は権利であり、ためらわずに相談するよう呼びかけている。生活困難の要因は一つではなく様々であり、どんな相談でも受ける窓口を設置し、市民の生活困難への支援が必要だ。

伴走型支援を進める

多機関協働の核となる職員をまちの保健室に配置し、複合的な生活課題を抱える相談者に対しての支援を強化する。困っている人を地域活動や行政支援につなげるリンクワーカー(※)養成研修を実施し、伴走型での見守り体制を整える。

※リンクワーカー(社会的処方士): まちの保健室や地域担当保健師、関係職員など、地域ごとに地域資源を把握し、「社会とのつながり」を処方する保健・福祉・医療の知識を持った専門職。

●教育

清風クラブ

福田 博行 議員



Q 国体のボランティア

本市では9月26日から始まる三重とこわか国体において、軟式野球・弓道・ホッケーが開催される。大会期間中に多くの選手や関係者がお越しになるため、案内やおもてなしを欠かすことができない。ボランティアの皆さんにお手伝いをお願いすることになると思うが、募集について問う。

A 今回は募集しない

当初は受付や案内などをお願いするため、ボランティアの募集を考えていた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、密を避けるなどの見直しを行った結果、今回は募集しないことにした。競技関係者と市職員による必要最少人数での対応とする。



三重とこわか国体・三重とこわか大会 公式マスコットキャラクターとこまる

公明党

細矢 一宏 議員



Q コロナ禍での教育

コロナ禍で社会全体が人との接触を避けざるを得ない状況が続いている。学校教育にタブレットが導入され、学力的な面では補完可能な環境が整えられたが、人間形成には人との接触やつながりが必要だ。人格形成や心の教育について問う。

A つながりを重視

近年の社会情勢やコロナ禍により人と人とのつながりが希薄になってきているからこそ、学校教育の果たすべき役割が大きくなってきていると認識している。授業はもとより学校活動全般にわたって、様々な工夫をし、つながりを大切にする教育を進めていく。



喜働

川合 滋 議員



Q 中学校給食について

課題となっている中学校給食は、センター方式での実施を検討中だと思いが建設費用はいくらで、保護者負担はどのくらいになる予定か。財政課題が山積している本市においては、給食センターを整備する代わりに、市の負担する費用を各保護者に給付してはどうか。特に中学生は、男子生徒と女子生徒では食事が大幅に違う。給付金と少しの保護者負担で自由に弁当を購入すれば給食の代替えになると考える。

A センター方式で検討

センター方式での実施を検討しており、建設費用と長期の運営費用を合わせ34億円程度と試算している。給食費の保護者負担は月額5600円程度になる。今後、児童数の減少、給食室の老朽化が進む中、自校方式の小学校給食も課題と捉え、合わせて給食センターへの集約についても選択肢の一つとして検討していく。

●行財政

清風クラブ

坂本 直司 議員



Q 具体的な行財政改革

都市振興税が延長される3年間、人件費削減と病院経営改革に加え1億円の行財政改革を行うとのことだが、具体的な歳出削減内容と、それぞれの効果額を問う。

A 事務事業効率化など

災害廃棄物処理の委託料について、建物所有者が加入する保険で補てんされる場合、市の負担を廃止することで約1050万円、ゆめづくり協働事業の運用見直しで1000万円、庁舎エレベーター保守点検を随意契約から一般競争入札へ変更することで約180万円、加えて職員研修費、広報活動費、がん対策事業など事務事業の見直しと効率化で、合わせて約3500万円となる。さらに会計年度任用職員50名削減の約5700万円を含め、合計約9200万円の削減を行う。

自由クラブ

柏元 三 議員



Q 副市長の見解を問う

本市財政の運営責任者の一人である副市長は、本市財政の現状をどのように診断し、どのように対応すべきと思うか。

A 予算の執行を抑える

本市の財政は思っていたより厳しいと感じた。しかし、厳しいはずなのに、業務や工事の決裁が次々簡単に回っていると「財政の厳しさが本当にわかつているのか」との疑問があった。そこで、職員の意識改革が必要と思っている。職員の働きを10%から15%アップして令和3年度の予算は執行段階で、95%以下に抑えていくことを約束したい。また、若い人の意見をいかに政策に取り入れていくか。部長は自分の部局のことだけでなく、市役所全体を感じて仕事をすることを実現したい。



「議会録画中継」はテレビ・パソコン・スマホからご覧いただけます!

各定例会の開会から閉会まで、本会議の全日程がCATV(アドバンスコープ 203ch)で生中継されています。生中継を見られなかった人も、インターネットで録画配信をご覧いただけます(おおむね1週間後の配信)。

議会録画中継をご覧いただくには、名張市議会ホームページ(市ホームページから名張市議会をクリック)の議会録画中継バナーをクリックしていただくか、右のQRコードを読み取りください。

議会 録画中継



第397回定例会 審議結果

全会一致
議案

▼専決処分した事件(令和2年度一般会計補正予算(第8号))▼令和3年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算▼令和3年度東山墓園造成事業特別会計予算▼令和3年度国津財産区特別会計予算▼令和3年度病院事業会計予算▼令和3年度水道事業会計予算▼令和3年度下水道事業会計予算▼(議案第11号)職員の給与に関する条例等の一部改正▼会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正▼手数料徴収条例の一部改正▼国民健康保険税条例の一部改正▼コミュニティバス運行条例の一部改正▼附帯控訴の提起▼令和2年度一般会計補正予算(第9号)▼令和2年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)▼令和2年度東山墓園造成事業特別会計補正予算(第2号)▼令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)▼令和2年度介護保険特別会計補正予算(第3号)▼令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)▼令和2年度国津財産区特別会計補正予算(第1号)▼令和2年度病院事業会計補正予算(第3号)▼令和2年度水道事業会計補正予算(第1号)▼令和2年度下水道事業会計補正予算(第1号)▼職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部改正▼(議案第30号)職員の給与に関する条例等の一部改正▼令和3年度一般会計補正予算(第1号)▼令和3年度病院事業会計補正予算(第1号)▼令和3年度水道事業会計補正予算(第1号)▼固定資産評価審査委員会委員の選任同意▼人権擁護委員の推薦▼(議員提出議案)議会会議規則の一部改正▼(議員提出議案)議会政務活動費の特例に関する条例の制定

表決が
分かれた
議案

- ①…▼令和3年度一般会計予算・・・可決
- ②…▼令和3年度国民健康保険特別会計予算▼令和3年度介護保険特別会計予算▼令和3年度後期高齢者医療特別会計予算▼介護保険条例の一部改正▼指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正・・・可決
- ③…▼(議員提出議案)議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正・・・否決

会派	無会派		喜働		自由クラブ		心風会		清風クラブ			公明党					
議員名	森脇	三原	足立	川合	木平	山下	柏	荊原 <small>いばはら</small>	幸松	永岡	坂本	森岡	福田	阪本	富田	細矢	吉住
①	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

(常俊議長は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員)

その他

▼議案第1号令和3年度一般会計予算についてに対する予算組み替え動議・・・否決

会派	無会派		喜働		自由クラブ		心風会		清風クラブ			公明党					
議員名	森脇	三原	足立	川合	木平	山下	柏	荊原 <small>いばはら</small>	幸松	永岡	坂本	森岡	福田	阪本	富田	細矢	吉住
	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

議会改革 ing

■ 会議規則を改正しました

3月2日の本会議において、議員提出の「名張市議会会議規則の一部改正規則」が全会一致で可決されました。主な改正点としては、女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図る観点から、本会議や委員会への議員の欠席事由を「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助、その他のやむを得ない事由」とし、また出産に係る欠席期間を出産予定日の最大14週間前から出産後の8週間までと明記しました。そのほか、国がデジタル化政策の一環で押印の見直しを進めるのに合わせ、市議会に対する請願者に求めるとしていた「署名押印」を「署名又は記名押印」に改正しました。

■ 令和2年度に引き続き政務活動費を減額

3月24日の本会議において、議員提出の「名張市議会政務活動費の特例に関する条例」が全会一致で可決されました。これにより、議員一人あたり月額4万円が交付される政務活動費について、半額の月額2万円とし、令和2年度と同額を削減しました。削減した費用432万円は新型コロナウイルス感染症の対策費用の財源に充てられるよう要望しました。また同日、4人の議員が提出した、都市振興税延長に合わせ議員報酬の削減幅の拡大を求める「名張市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正条例」の採決も行われ、否決されました。



議会の日程

※予定を変更する場合があります。

開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。全ての本会議(委員会を除く)がCATVで生中継されます。

6月10日(木) 開会	21日(月) 総務企画委員会
15日(火) 一般質問	22日(火) 教育民生委員会
16日(水) 一般質問	23日(水) 産業建設委員会
17日(木) 一般質問	28日(月) 採決
18日(金) 補正予算	

聴覚に障害のある人も手話通訳などを介して本会議を傍聴していただけます。

手話通訳をご希望の場合は7日前までに、ヒアリンググループ装置の利用をご希望の場合は3日前までに議会事務局にご相談ください。



市議会の情報はホームページやSNSでも随時掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



ホームページ
<https://www.city.nabari.lg.jp/110/index.html>



フェイスブック
<https://www.facebook.com/nabarishigikai>



ツイッター
https://twitter.com/nabari_gikai



なばり市議会だより

since 1996

議会だよりに掲載した主な出来事を取り上げ、
名張市議会の25年間を振り返ります。

1996年(平成8年)8月

なばり市議会だより創刊

創刊当初はカラー刷り8ページで市議会単独発行。平成16年5月(No.32)から市が発行する「広報なばり」に挟み込む形式となり、現在まで続いている。



2000年(平成12年)3月

議会広報特別委員会設置

「議会だより編集委員会」に代わって、平成12年5月(No.16)からは、新たに設置された「議会広報特別委員会」で編集を行い、現在まで続いている。

2006年(平成18年)3月

議員提出「名張市子ども条例」制定

名張市議会初の議員提案政策条例で、子どもたちが健やかに生まれ、将来に夢と希望をもって力強く生きることができるよう、社会全体で子どもの成長を支えることを目的に制定した。

2013年(平成25年)9月

議員提出「名張市ばりばり食育条例」制定

市全体で総合的かつ計画的に食育に取り組み、市民一人ひとりが食を正しく学び、地域の特性を生かした食育を実践し、健康で文化的な市民生活が実現するよう制定した。

2013年(平成25年)12月

議員提出「伊賀名張の酒・名酒で乾杯を推進する条例」制定

古来の食文化とともに歩んできた名張の伝統的な産業や酒文化を守り、育み、地域文化の発展へと繋ぐため、名張の酒「名酒」による乾杯の普及を推進し、市の経済の振興および地域文化の発展を図る目的で制定した。



2016年(平成28年)3月

第1回議場コンサート開催

市民の皆さんに議会を身近に感じていただくため「議場コンサート」を開催した。第1回は、名張市観光大使でギタリストの竹田京右さんに出演いただいた。



2016年(平成28年)3月

議員提出「名張市ものづくり基本条例」制定

担い手や事業者が活動・成長しやすい環境をつくることで伝統工芸・食の産業・製造業などものづくり産業をさらに発展させ、豊かで活力ある地域社会の実現を目指し制定した。

2016年(平成28年)12月

議員提出「『食べてだあこ』名張のお菓子でおもてなし条例」制定

名張のお菓子によるおもてなしの習慣やその魅力を広め、四季の移ろいを感じることでできる心豊かなまちを目指し制定した。



2018年(平成30年)6月

議員定数を2人削減

名張市議会議員の定数を定める条例を一部改正し、議員定数が20人から18人になった。



2019年(令和元年)9月

議員提出「名張市飲酒運転根絶に関する条例」制定

市、市民と事業者が一体となって、飲酒運転を根絶するための活動を推進し、飲酒運転をしない、させない、許さないという意識を市民に定着させ、安全に安心して暮らすことができる市民生活の実現を図ることを目的に制定した。



2020年(令和2年)8月

議員提出「性の多様性を認め合うまち・なばり」宣言制定

すべての人が幸福に生きられるよう、性自認や性的指向など、性の多様性が尊重され、誰もが自分らしくありのままに暮らせる名張市の実現に向けて、LGBTなど性的少数者への差別解消や支援を目指し宣言した。



四半世紀 ヒストリー

2004年(平成16年)

9月 常任委員会を4委員会から3委員会に再編

2011年(平成23年)

10月 正副議長選挙の立候補制導入

2013年(平成25年)

4月 市議会フェイスブック開設

12月 本会議のテレビ中継・インターネット録画配信を開始

2014年(平成26年)

3月 「反問権」を導入

12月 議会報告会を初開催

2015年(平成27年)

12月 タブレット端末導入

2016年(平成28年)

6月 傍聴者の手話通訳利用と磁気誘導ループ装置利用が可能となる

9月 常任委員会協議会設置

2017年(平成29年)

6月 質問席を設置し、一般質問が対面方式になる

9月 「名張市議会基本条例」制定

10月 議会改革特別委員会設置

2018年(平成30年)

8月 定数20から18へ変更後初の市議会議員選挙

2020年(令和2年)

3月 傍聴席にディスプレイを設置

6月 新型コロナウイルス感染症関連会派代表質問を実施

11月 市議会ツイッター開設

2021年(令和3年)

4月 なばり市議会だよりNo.100発行